**「砂川市義務教育学校建設基本設計書（案）」にお寄せいただいたご意見と教育委員会の考え方**

○意見募集期間：令和５年７月６日～令和５年８月７日

○意見提出者数：４人

○意見提出数：４件

○意見要旨及び意見に対する教育委員会の考え方

　※　ご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見につきましては、実施設計において反映できるか慎重に検討させていただきます。また、

ご意見などは、原文の通りとしていますが、読みやすさを考慮して、表現などを一部修正しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｎｏ | 寄せられたご意見など | ご意見などに対する教育委員会の考え方 |
| １ | ○Ｐ30～Ｐ32　４－３　平面計画　Ｐ53　　　　４－17　工事工程表、概算事業費　延べ床面積が15,445㎡と砂川庁舎の約2.6倍もあるにも関わらず、施工期間が約18ヶ月と砂川庁舎建設と変わらない期間、札幌市の大開発での人手不足、2024年からは建設業も週休２日などマイナス要素しかないなか建設できるのでしょうか。また、学校と通路が共有になるであろう西側に54ｍ×56ｍのアリーナがあり、鉄骨建方のクレーン配置も困難だと思われます。内部も工程的に圧迫される吹き抜けが多く、私の経験からは実質不可能ではないかと思います。現中学校も校舎１期・校舎２期・屋体音楽堂３期にわかれての工事だったと思います。（18ヶ月以上）町の工務店では出来なくても、スーパーゼネコンなら可能なのかも知れませんが。 | 義務教育学校の工事工程についてですが、建設業界において人手不足が進む中、道内建築需要の高止まりや建設業の働き方改革など、工事施工にあたって厳しい状況が続いています。市としましては、１学年でも多くの児童生徒へ義務教育学校の教育環境を整えたいと考え、また、国の補助金の要件として工期が２年間以内と制約があることから、財政的負担も考慮して令和８年４月開校を目指しています。工期算定にあたっては、可能な範囲での工期設定を行っていますが、法定労働時間の許容範囲内での時間外労働も想定し、労務費の割り増しによる建設単価の導入も考えています。これらのことから、工期については、設計書（案）のとおり設定したところですが、今後とも建設業の情勢については、注視しながら進めていきます。また、アリーナ棟の鉄骨建方については、大型クレーン配置により可能かと考えていますが、いただいたご意見を参考に、実施設計の中で検討します。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｎｏ | 寄せられたご意見など | ご意見などに対する教育委員会の考え方 |
| ２ | ○Ｐ30～Ｐ32　４－３　平面計画　音楽室について、音楽堂のようなイメージで天井が高く大きめの音楽室でとてもありがたいです。①歌唱テストや物品保管のため、準備室が必要です。②小中別々での吹奏楽の活動を考えているのであれば、音楽室が隣接していると音が混ざってしまいます。③部活動の地域移行を考えると、１階に音楽室があった方が良いのではないでしょうか。また、楽器移動も結構大変です。 | ①楽器庫なども含めて実施設計において準備室の検討を行います。②２つの音楽室の間には、現在、楽器庫の配置を設計しているところであり、また、実施設計において各室の防音対策についても検討を行います。③音楽室については、前期課程、後期課程ともに使用する特別教室として、理科室等の特別教室と同様に２階に配置しています。義務教育学校には、エレベーターを設置する設計としていますので、楽器の運搬等にはエレベーターを利用して運搬してもらうことを考えています。 |
| ３ | ○Ｐ30～Ｐ32　４－３　平面計画市内の学校が１校になるので、同窓会資料室があれば良いと思います。　ちなみに、旧石山中学校の資料については、旧石山中学校同窓会で保管しています。 | 同窓会等の団体の資料は、可能であれば各団体において管理していただきたいと考えていますが、これまでの管理状況や団体の解散などにより資料の管理が困難な場合は、新たな学校で最小限の資料をお預かりすることも想定されます。「同窓会資料室」を設ける予定はありませんが、上記のような場合を考慮して、今後の実施設計において学校倉庫の中に一定のスペースを備えることを検討します。 |
| ４ | ○Ｐ30～Ｐ32　４－３　平面計画体育館ステージで、学芸会等学校鑑賞事業をする際に、ステージ上やギャラリーにバトンや電源回路あれば照明演出ができ、魅力ある活動は生徒や地域に喜ばれるのではと思います。 | 体育館ステージ上のバトンや電気設備については、実施設計において詳細を設計します。 |